

敦賀工業高校でのフォローアップ

平成 17 年 7 月 20 日(水) 13 : 30 ~ 14:30

場所:福井県立敦賀工業高等学校

参加者:

(敦賀工業高校 3 年生)

江村大将さん、中嶋慎一さん、
森本貴大さん、

(敦賀工業高校 2 年生)

大内契文さん、萩原孝典さん、
別府勝也さん

(敦賀工業高校教諭)

赤星公司先生

(協力 サイクル機構)

塩谷正一さん、北端琢也さん

(原子力学会 学生連絡会)

川岸 礼佳

敦賀工業高校は以下の事項の達成に努めている高校です。

人類の平和と福祉に貢献し、文化の創造と発展に寄与する民主的国家社会の形成者を育成する。

活力 自律 進化

- 学習に励み進んで真理を求めよう
- 心身を鍛錬し健康の増進に努めよう
- 互いに敬愛し明朗誠実な人になろう
- 勤労を尊び責任を重んじよい技術者になろう
- 工業の使命を自覚し個性と創造力を伸ばそう



生徒さんからの敦賀エネルギーセミナーの感想

A：現在のエネルギー問題について TV で放映されている以外の事を知る事ができた。

B：石油には限りがあるので、エアコンをなるべく使わないようにする等生活に工夫が必要だと思った。

C：石油は限りがあるということは有名。省エネよりも新エネルギーをどう開発していくかが問題。電力に関しては原子力に移っていけばいい。

D：セミナーでは色々な事知れた。周りの人は知らないなので、少しでも話して旧文明化を避けなければならない。

E：難しかったが表面上のことは理解できた。今後勉強していきたい。

F：分からなかった。省エネしていけばいいと思う。



1．セミナーのどこら辺が難しかったか？また、どうすれば分かり易くなるか？

A：地図の中で、油田の水のラインが分かりにくかった。

B：事前学習が必要だと思った。

C：E P R等の聞きなれない言葉や見慣れないグラフがでてくると分からないが、ラビットリミットなどの例を出してもらえると分かり易い。

D：難しい言葉でも英語で示されても分からない。またいきなり中心の話をされても分からない。

E：スライドは資料ばかりだったが、説明文があると分かる。

F：グラフが分かりにくかった。

2．石油使えなくなることでのどんな影響出るか？

A：石油が高価になり気軽に使えなくなり、次第に新製品が誕生し今まで日常的に使っていたも

のも使わなくなる。

B：今の暮らしに制限が加わると予想できるが考えにくい。

C：車を違うエネルギーで動かしたり、ビニールをとうもろこしで作る等の工夫が必要。

D：今まで使用していたものが使えなくなり廃棄物が増えるのではないかと思う。

E：電力がなくなり、太陽光の技術が発達すると思う。

F：ガソリンで動いていた車を捨てる人がでてくると思う。この処分をどうやってするか課題になると思う。

3．電力として石油の代替エネルギーを挙げるとしたら？

A：原子力。車などには超伝導で電気を溜める技術も必要。

B：原子力だが、問題を克服する必要がある。

C：宇宙での太陽光発電、波力、超伝導など石油を使って開発すべき。

D：原子力だが失敗のリスクを考えると自然の力で発電した方が良い。

E：原子力はその場しのぎ、足りない分を自然の力を借りたら良い。

F：自然のエネルギーによる発電が一番良いと思う。発達すると良い。



4．今、代替エネルギーとして「原子力」が出たが、原子力に対してどう思うか。（生まれた時から原子力発電所の近所で生活していることを踏まえて）

A：最近の事故を見ていると技術的な問題よりヒューマンエラーが問題である。住民が技術者に意識レベル向上を啓発すべき。

- B：石油があるうちに現在の原子力の問題を直せば良い。
- C：原子力は戦争があったとき標的にされるのが不安。発電所が他に害を与えるのなら電気がなくても良いと思う。
- D：問題あったときに困る。
- E：普段はピンと来ないが、事故があると過剰に反応してしまう。
- F：事故が起きて放射線が漏れないか不安。

5. では、もんじゅに関してはどうか？

- A：既存の軽水炉は先が見えているのでFBRで食いつなぐ必要がある。
- B：ピンと来ないが、住民たちの不安がある内は安全性重視すべき。
- C：安全且つ便利であること、他府県の理解が得られることが必要。
- D：周りの人はもんじゅに興味ない。メディアは危険性だけを伝えている。そうではなく点検をやっているところ等も報道すべき。
- E：住民の理解深めるためにも中を公表すべき。研究の時間が必要なら早めに住民の理解を得るべき。
- F：みんな知らないので、理解を深めたらいいと思う。

6. 高レベル放射性廃棄物の地層処分についてはどうか？

- A：それしか案がない以上仕方ないが1000年待たず処理する方法を見つけるべき。
- B：埋めるしかないならしかたないが、いつか埋める場所なくなるかも。
- C：今は埋めて将来宇宙に捨てるか、取り出してしっかり処分しこれをエネルギーに変える。
- D：反対。時間とコストかかってても技術の発展に期待。
- E：始め埋めて、後から掘り出して利用する。
- F：地震起きると危ないと思う。出来るだけ早く良い案を出して欲しい。

7. 放射線についてはどう思うか？

- A：知らないだけで身近に放射線利用の製品がたくさんあることが意外だった。
- B：医療など利用価値のあるものは使ってもいいと思う。
- C：放射線は危ないものだと言われるが、ちゃんと使えば良いものだから世間に広めるべき。
- D：放射線事態の理解が乏しい、理解と技術進歩が必要。
- E：身近なものであることは知らないだけ。身近なものだと理解してもらえれば原子力発電に理解深まると思う。
- F：放射線利用技術は今後も発達していけばいいと思う。

8. これからの将来はどうなると思うか？

- A：軽水炉、FBRの後どうやってエネルギーを得るかが課題になってくると思う。
- B：石油には限りがあるので、次に使えるものを少しでも研究を重ねて欲しい。
- C：石油でこれからの課題を克服し次に進める。石油がなくなれば原子力で次の技術を開発して

いく。

D：人類の未来には二通りある。1、色々な技術が開発される。2、エネルギー得られなくなり旧文明化。人間が欲望のままに戦争をおこすと地球が駄目になり、いずれ人類は滅亡してしまう。

E：一つのエネルギーに頼りすぎているので、バランス良くエネルギーを得る技術が必要。

F：代替エネルギーを発見して文明を進化させたら良い。

